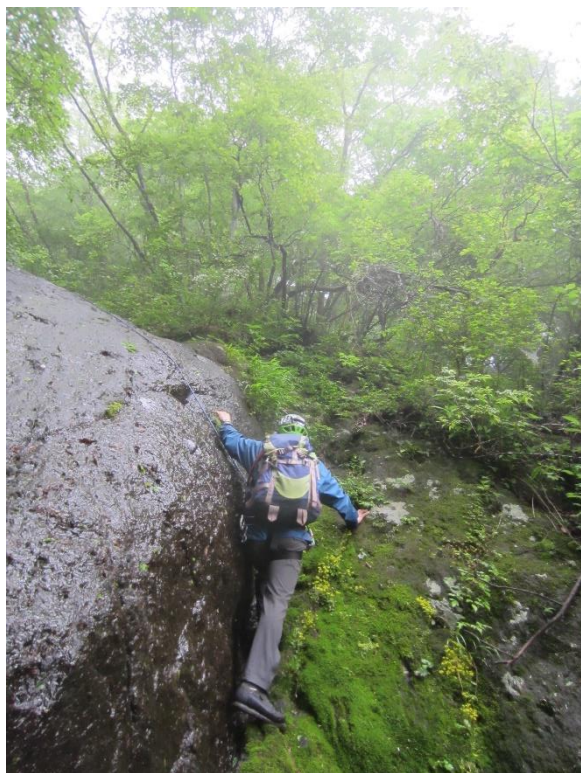


丹沢：葛葉川本谷

- ◆日程 令和3年5月23日(日)
- ◆メンバー L：ST、KH、SM
- ◆天候くもり

愛甲石田駅でSTさんにピックアップしてもらい葛葉の泉駐車場上に移動。すでに多くの登山者が沢に入る準備している。

STさんをトップに入渓すると速いスピードで登っていくのでついて行くのも大変である。高さはないが、へつりあり、つっぱりありで結構楽しい。しかし、水量はかなり多いので気が抜けない。前方のアベックのパーティーの女性は水流にまけて水中にドボンした。F3かトップのSTリーダーが早いスピードで豪快に乗越していったと思ったら、放物線を描くように落下してきた。次に登るため横で待機していたSMはその光景に思わずびびった。尾骶骨を打ったとのことで、しばし安静にさせていただき休憩する。臀部、腰、背骨、首に異常がないとのことで、遡行を再開した。板立ての滝は右壁をリーダーがノーロープで登り、SM、KHはロープで確保してもらいながら登る。大平橋下を通過し、富士形の滝に到着するも、ここでは10数人のパーティーが確保しながら登っており順番待ちとなる。



待ち時間を利用してリーダーがザックからロープを取り出し、確保のレクチャーを受ける。先行パーティーが登り終わり、さあ自分たちの番と思っていたらリーダーは出していたロープをザックにしまっている。直登はせず、滝の左側を登るとのこと、ここは始めて気付も元気に越えた。富士形の滝を超えると水流も細くなり、ガレ場となりやがて二俣となった。左に入り枯滝をこえていくが、先程の10数人パーティーは既に樹林帯に入っていたが、このパーティーの起こす落石が多く藪から落ちてくる落石は直前まで判らないので非常に困った。またこの涸れ滝が意外に手ごわく1か所ロープをだしてもらいやつの思いで超えることができた。リーダーに感謝。

樹林帯に入りしばし急登すると三の塔の登山道に出た。ここから牛首に下山し林道を回って葛葉の泉に下山した。(記：SM)

CT：葛葉の泉 9:30 - 板立て滝 10:15 - 富士形の滝 12:30 - 登山道 15:00
- 牛首 15:50 - 葛葉の泉 17:00